

ほくでん
エネモールbiz
MAGAZINE

ほくでんエネモールビズマガジン

電化で拓く
持続可能な未来へ

Vol.11

ほくでん

TOSHIBA

更新工事の需要が高まる今!!

中規模ビルから大規模工場まで

様々な**更新需要**に

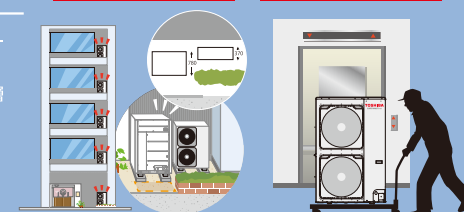
最適な**ラインナップ**あります!

設置面積のコンパクト化を実現!

薄形で、設置場所フリーともいえるスーパーマルチminiの室外機。スペースの限られる都心部・周辺部の中低層ビルに即応するシステムです。

バルコニー設置可能

エレベーター搬入可能



店舗や
中低層ビルの
更新に!

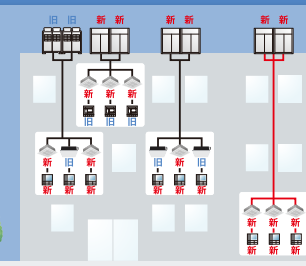


ビル用マルチ空調システム
スーパーマルチ
mini [更新用]

部分更新が可能で、
フレキシブル&サステナブルな更新を実現!

新通信仕様採用により、当社過年度ビル用マルチエアコン®との混在運転が可能。工事短縮による更新コスト低減に貢献します。

※R410A採用のビル用マルチエアコンに限る



ビルや工場の
更新に!



ビル用マルチ空調システム
寒冷地向け
スーパーマルチu
暖太郎™ [更新用]

17,000台以上販売実績のあるSFMC、高い接続互換性で既設の熱源機が入れ替え自在に!

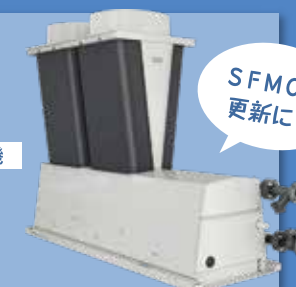
既存設備をできる限り
ユースすることで
熱源機更新工事の
廃棄物を低減します。

SFMC
更新モデル

入れ替え
→
水配管の接続に互換がありリユース可能
電源配線に互換がありリユース可能
据付に互換がありリユース可能

既存の
SFMC

空冷ヒートポンプ熱源機
USX FIT®
[SFMC更新モデル]



SFMCの
更新に!

日本キャリア株式会社 北海道支社
〒060-0014
北海道札幌市中央区北14条西18丁目1番23号
TEL.011-839-8098

日本キャリア
公式SNS
開設しました



Contents

特集

経済産業省 北海道経済産業局
脱炭素電源を拡大・活用し
産業政策と一体的な構築を P03

電化最前線

小清水町認定こども園
ヒートポンプを効果的に採用した
ZEB化保育施設 P05

株式会社鈴木東建
レジリエンス強化型
「Nearly ZEB」社屋誕生 P07

道の駅しらぬか 恋問館
地中熱と太陽光を活用した
「道の駅」がオープン P09

脱炭素ソリューション

佐藤水産株式会社 P11
脱炭素に向けて「カーボンニュートラル
ファーストステップ支援事業」に参画

エネモールbiz MAGAZINE

エネモールbizマガジン Vol.11

電化で拓く 持続可能な未来へ

エネモールbizマガジンVol.11 2025年8月発行
発行人 坂本直毅
撮影 井澤美つ輝
制作・印刷 札幌大同印刷株式会社
編集協力 大崎香織(COTODAMA)
発行 北海道電力株式会社
バリューマーケティング部 エネルギーソリューション室



ゼネラルヒートポンプは
再生可能エネルギー熱「Renewable Heat」を
環境エネルギー「Environmental Energy」熱に
換える会社です



登録はお済みですか？ 「e-ダイヤモンドマネージャー」

世界的なエネルギー価格の高騰を受け、脱炭素社会の実現はもとより、省エネへの取り組みはさらに重要視されています。脱炭素・省エネについて、何かから着手すべきかお悩みを抱える高圧供給以上のお客さまを対象に、電力使用状況の見える化を可能にするのが「e-ダイヤモンドマネージャー」です。

ビッグデータを基に同地区・同業他社との比較も行うことができるため、エネルギー使用や管理の参考データとしてご利用いただくことができます。

データは、ほくでんとご契約のお客さまであれば、いつでも・どこでも、誰でもエネモールサイトから無料でご覧いただくことが可能です。利用方法につきましては、各支社の営業担当がお客さまへ直接ご説明させていただくことも可能ですので、お気軽にお問合わせください。



用途

冷房・暖房 / 給湯 / 地域熱供給 / プール・温泉の加温 / 融雪 / 工場での加温・冷却 等

高効率
ヒートポンプチャラー



道の駅しらぬか恋問に
納入しました

地中熱源対応
ビル用マルチシステム



透析熱回収
ヒートポンプシステム



プロセス
ヒートポンプ



ZQ ZENERAL HEATPUMP ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

北海道支社 札幌市白石区菊水上町1条1-100-42 TEL: 011-837-5101 FAX: 011-837-5102

本社統括営業本部・再生可能エネルギー研究所本部 工場(本社工場・第二・第三) 名古屋

支社 東京 営業所 東北(仙台)・北信越(富山)・西日本(大阪・福岡)

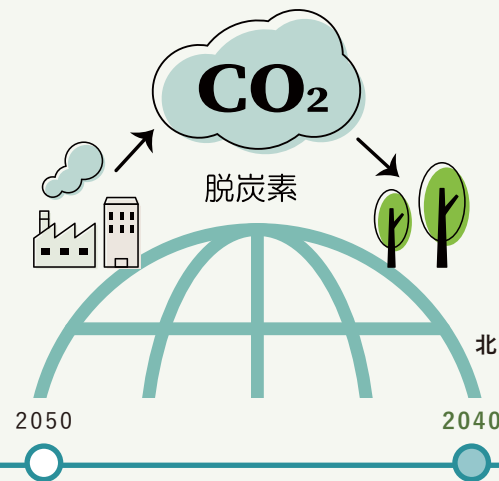


ZEB 実現に関する
ご相談を承ります

2040年に向けたエネルギー政策の方向性

脱炭素電源を拡大・活用し
産業政策と一体的な構築を

2025年2月に策定された「第7次エネルギー基本計画」のポイントなどについて、
北海道経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課の高橋育男課長にお聞きしました。

「S＋3E」の達成を目指す
エネルギー政策の基本方針

「エネルギー基本計画（エネ基）」とは、
どのようなものなのでしょうか。

日本のエネルギー需給に関する施策の
長期的、総合的、計画的な推進を図るた
めの基本となる計画で、エネルギー政策
基本法に基づいて策定されています。エ
ネルギー情勢の変化などに対応して概ね
3～4年ごとに見直され、「S＋3E」
の考え方を原則としています。「安全性
（Safety）」を大前提に、「安定供
給、エネルギー安全保障（Energy
Security）」「経済効率性、低コ
スト（Economic Efficiency）」「環
境適合（Environment）」を
目指しており、3Eの重心の
置き方は時代により変化しています。



経済産業省
北海道経済産業局
資源エネルギー環境部
エネルギー対策課
課長
高橋育男氏

電力需要の増加に対応し
脱炭素電源を最大限に活用

「第7次エネ基のポイントや第6次から
の変更点などを教えてください。」
2021年の第6次エネ基以降、ロシ
アによるウクライナ侵略など世界的な動
きによって日本のエネルギー情勢は大き
く変化しました。また、DX（※1）やG
X（※2）などの進展で、結果として電力
需要へのシフトが見込まれること、カー
ボンニュートラル（CN）に向けた取り組
みが世界各国で拡大する中で日本も多
様なアプローチが必要とされることなど
も踏まえ、第7次エネ基が策定されまし
た。具体的には2050年CN実現に向
け、2040年度温室効果ガスを約70％
削減（2013年度比）する目標が掲げ
られるとともに、これまでと変わらない
徹底した省エネに加え、CN実現に大き
く寄与する電化や非化石転換が今まで
以上に重要となること示されました。

さらに、電力需要増加への対応や安定供
給を図るため、再生可能エネルギー（再
エネ）などの脱炭素電源を最大限活用し
ながらも、特定の電源や燃料源に依存し
ないようバランスのとれた電源構成を目
指すことが求められています。また、エ
ネルギー政策と産業政策の一体的な構築
に向けて、GX実現への中長期的な取り
組みとして策定された「GX2040ビ
ジョン」との連携も重視しています。

北海道に根差した
「GX×地方創生」を推進

「北海道では、どのような取り組みを
進めていく考えでしょうか。」
北海道は風力・太陽光・地熱・バイオマ
スなど全国トップクラスの再エネのポテ
ンシャルがあるため、新たな技術を取り
入れながら最大限の導入を目指します。
その際のポイントは、地域との共生です。
各地域と連携を図りながら再エネへの理
解や普及拡大を進め、経済成長や地域課
題の解決などにつなげていく考えです。

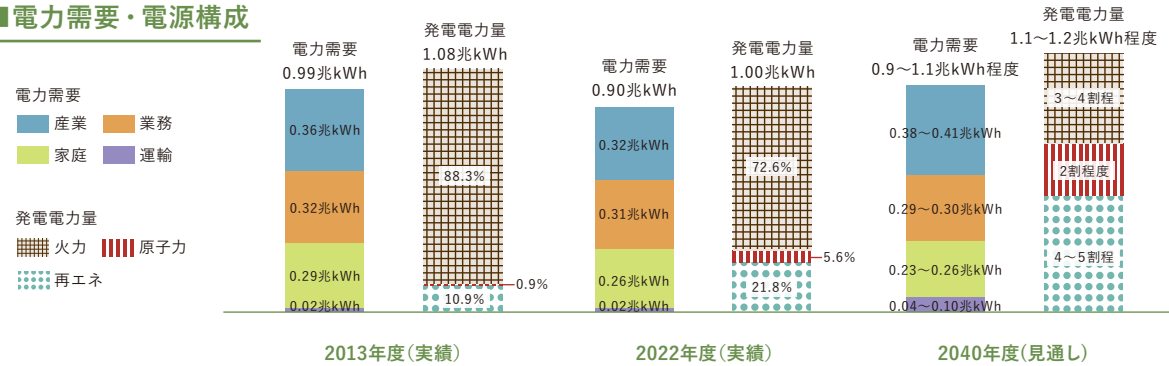
北海道経済産業局では局内横断的なG
X推進チームを立ち上げ、GX実現に向
けた取り組みを展開中です。チームごと
に7グループに分かれ、エネルギー対策
課が担当する脱炭素電源グループでは地
域理解の促進や支援メニューの活用促進
などを進めるほか、GXにより地域課題
を解決するモデルを創出したいと考えて
います。また、GXを身近なものとして
捉えていただくため、地域に根差したパ
ラエティに富んだ取組事例を北海道経済
産業局独自の表彰制度やイベント等を通
じて創出し、「GX×地方創生」を積極
的に支援していきます。

「最後に、メッセージをお願いします。」
身近にできるGXの取り組みとして皆
さんにまず始めていただきたいのは、やは
り省エネです。国のほか自治体の支援制度
も充実していますから、是非チャレンジ
していただきたいです。私たちも省エネと
電化・非化石エネルギーへの転換の取り組
みをさらに推進してまいります。

「最後に、メッセージをお願いします。」
身近にできるGXの取り組みとして皆
さんにまず始めていただきたいのは、やは
り省エネです。国のほか自治体の支援制度
も充実していますから、是非チャレンジ
していただきたいです。私たちも省エネと
電化・非化石エネルギーへの転換の取り組
みをさらに推進してまいります。

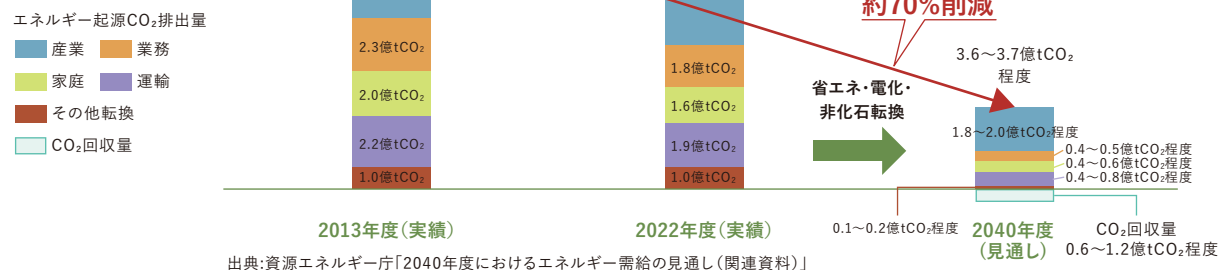
第7次エネルギー基本計画で示された見通し

■電力需要・電源構成



出典:資源エネルギー庁「2040年度におけるエネルギー需給の見通し(関連資料)」

- 産業・運輸で電力需要が増加
- 原子力・再エネ等の脱炭素電源が拡大

■エネルギー起源
CO₂排出量

出典:資源エネルギー庁「2040年度におけるエネルギー需給の見通し(関連資料)」

約70%削減

省エネ・電化・
非化石転換

北海道経済産業局におけるGX実現に向けた取組み

GX推進チーム(7グループ)

エネルギーマネジメント推進グループ

再生可能エネルギーの効率的な活用や更なる
導入を促すため、系統用蓄電池の導入やディ
マンドリスポンス等の取組拡大を支援する。

脱炭素電源グループ

北海道のポテンシャルを活かした再生可能エネ
ルギーの導入や、安全確保を大前提とした原子力の活
用について、自治体等との連携・理解促進を図る。

GX推進機構:北海道デスク

- ☑ GX投資の推進
- ☑ 情報収集・発信
- ☑ 案件発掘など

水素グループ

道内の水素・アンモニア活用拡大に向け、製造・供
給拠点等のサプライチェーンの構築支援や、多様
な規模・用途での水素等の需要創出を支援する。

CCSグループ

CCS関連技術の研究開発等の円滑な実施に向けた
環境整備のため、地域との連携及び理解促進に取
り組み、多様なCCS事業モデルの確立を目指す。

NEDO:北海道NEDOデスク

- ☑ GX関連プロジェクト発掘
- ☑ 次世代半導体支援
- ☑ スタートアップ育成など

地域産業GX支援グループ

食・観光やものづくり等の所管業種に施策情報を
提供。また、データセンター等の設備投資を予定
している事業者の脱炭素の相談等に対応する。

中小企業GX支援グループ

中小企業関係団体や金融機関等と連携し、中
小企業・小規模事業者のカーボンニュート
ラルやGXの理解促進及び取組への支援を行う。

総括グループ

各グループの業務の進捗把握や情報共有のため、全体会議やグループ長会議の運営等、
GX推進チーム全体の業務を円滑にするための企画・調整を行う。

JOGMEC:
洋上風力調査北海道連絡事務所

- ☑ 洋上風力サイト調査
- ☑ 地元自治体等との
関係構築など

Team Sapporo-Hokkaido

北海道、札幌市など21機関で構成された
産学官金のコンソーシアム

採用機器



業務用
エコキュート
Q-ton

×1台

問／三菱重工冷熱(株)
TEL.011-846-1261

エコキュート貯湯タンク



ビル用
マルチエアコン
VRV Hシリーズ

室外機×4台

問／ダイキンHVAC
ソリューション北海道(株)
TEL.011-784-5556

VRV Hシリーズ

ご協力

小清水町認定こども園
「にじいろ」

〒099-3641
斜里郡小清水町元町2丁目15番45号
TEL.0152-62-2702

構造：RC造 一部W造
規模：地上1階
延床面積：1,670㎡
定員：126名



小清水町認定こども園
「にじいろ」園長

佐藤 大吉 氏



小清水町 建設課
課長

西川 豊人 氏

「いつも」のことが「もしも」の時に役立つフェーズフリー ヒートポンプを効果的に採用した ZEB化保育施設

電化最前線

小清水町認定こども園「にじいろ」は道内初のZEB化保育施設で、
フェーズフリーの考え方を取り入れて誕生しました。



小清水町 認定こども園
にじいろ

小清水町

「子育て」の拠点として
教育・保育・子育て機能を集約

2024年11月に開園した「にじいろ」は、幼稚園と保育所の良さを併せ持つ幼保連携型認定こども園。施設内には小清水町子育て支援センターも併設され、幼児教育・保育と子育て支援機能を集約して町全体で子どもたちを育てていく「子育て」の拠点として整備されました。

新施設は、以前の町立保育所が抱えていた老朽化、狭小、複雑な建物形状などの問題の解消だけではなく、日常時も非常時も誰もが安心して利用できる「フェーズフリー」の考え方が取り入れられました。子ども・保護者・職員など利用するすべての人にとっての日常時の価値を高め、それが結果として災害時にも役立つことを考慮して、さまざまな仕掛けや仕組みを盛り込み、(一社)フェーズフリー協会よりフェーズフリー認証を取得しました。

省CO₂・省エネ、長寿命化を
目指してZEB化

小清水町は2023年、豊かな自然の恩恵を確実に未来へ引き継ぐため、持続可能な地域社会の実現に向けてゼロカーボンシティを宣言。新施設はこの宣言に基づき、温室効果ガスの排出量を可能な限り抑制し、省CO₂・省エネや建物の長寿命化を図ることなどを目的として検討を進め、保育施設としては道内第1号のZEB Readyを達成しました。

トボンプの全館暖冷房空調により、季節を問わず快適な環境が維持できています。さらにヒートポンプ給湯の採用で省CO₂、省エネに貢献。また床暖房は子どもたちが常時過ごす場所を選んで導入することで、ZEBの達成にも寄与。園庭に面した南向きのサンルームや高天井部の窓によって自然光を中心部まで導いているため、明るく開放的な保育空間の確保とともに照明や暖房の費用削減につながっています。また、建物全周に大きな庇を設けており、夏季は日射遮蔽により冷房負荷を軽減できるほか、雨や日差しの強い日でも子どもたちが遊べるスペースとして有効に活用されています。

子どもも保護者も職員も
安心・快適に過ごせる施設に

「子どもがワクワクする施設」の狙い通りに、子どもたちは通園を楽しみにしており、出席率が高まったそうです。また、感染症が広がりにくくなるという大きな変化もありました。以前は一人が発症するとクラス単位で広がりを見せていましたが、今では感染の収束も早く、全熱交換器と高効率空調機の採用により、適正換気量の確保と省エネの両立を実感されています。

保護者からは「明るい」「暖かい」「子どもの様子がよく見える」などの声が寄せられ、開放的な造りになったことで保護者同士や職員とのコミュニケーションが取りやすくなった点も好評だといいます。保育室内の棚を可動式にさせる等、職員の働きやすさを意識した設備も取り入れられ、より充実した保育・教育に取り組む環境が整いました。



見える調理室

食育を重視したガラス張りの調理室。電化厨房機器がメインに



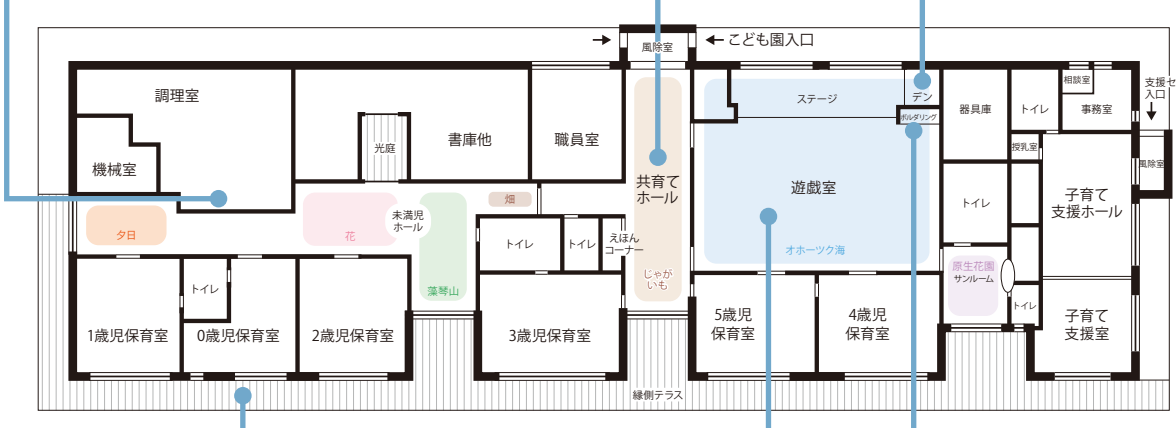
“交流の場所”子育てホール

死角が少なく見通しの良いホールは、子ども・保護者・職員が集う場所に



隠れ家“デン”

自分の遊びに集中できる隠れ家のような空間“デン”を遊戯室の一部に設けています



図面：調理室、機械室、図書室、職員室、共有ホール、ステージ、遊戯室、オホツク海、トイレ、事務室、支援センター、1歳児保育室、0歳児保育室、2歳児保育室、3歳児保育室、5歳児保育室、4歳児保育室、子育支援ホール、子育支援室、トイレ、図書室、職員室、共有ホール、ステージ、遊戯室、オホツク海、トイレ、事務室、支援センター



庇(ひさし)のあるテラス

2.5m幅の庇があるので雨の日にも遊び場に。ベビーカーも通行することができます。木樽には、雨水をためて菜園への水やりに活用



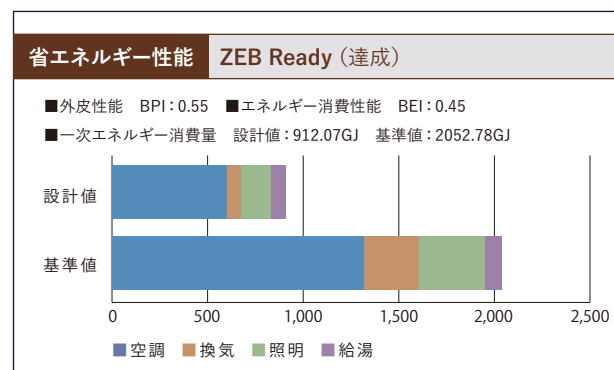
遊戯室と壁を開放できる保育室(4・5歳児)

保育室の壁を開放すると一体化した空間に。非常時には避難スペースとして活用できます



ボルダリングコーナー

安全に楽しく体力づくり。あきらめない心や考える力も養います



>> 寒冷地のZEBについて、ほくでんと一緒に考えませんか？

お問い合わせ

北海道電力株式会社
バリューマーケティング部
エネルギーソリューション室
システム提案グループ
TEL.011-251-8072
E-mail:zeb-assist@hepco.co.jp



ZEB化採用技術



屋上に設置された高効率電気ヒートポンプ空調室外機



社屋棟と隣接する倉庫棟の屋上に計110枚(49.5kW)の太陽光発電パネルを設置



2~4階に備えるラウンジは社員の休憩室、お客さまとの商談コーナーとしても幅広く利用



駐車場にEV充電器を2台設置



太陽光発電の余剰分を蓄える蓄電池万が一に備えて電力を確保

高効率ヒートポンプ給湯器を採用シャワーやランドリールームも完備



電化最前線

災害時の活動拠点を視野に 高い省エネルギー性能を実現

レジリエンス強化型「Nearly ZEB」社屋誕生



地域貢献への姿勢や
高い技術力を社屋に具現化

インフラ整備やマンション・戸建て住宅の建築など多岐にわたる事業を担う同社では、環境負荷の低減や持続可能な建築、災害時の地域社会への貢献などを目指してZEB化に取り組む本社新築プロジェクトに着手。コストと性能の最適なバランスなどの検討を重ねてレジリエンス強化型の「Nearly ZEB」を実現し、2024年1月に竣工しました。

レジリエンス強化型は災害時にも対応できる建物であることが求められるため、太陽光発電システムや蓄電池、EV充電器などを導入。災害時に一時避難場所として社屋を地域に開放する想定は、地域社会への貢献という社是に基づくものであり、同社の考え方や技術力が具現化された建物となっています。

「外断熱工法」を採用し
快適性と省エネを両立

新社屋には、同社が事業として推進している鉄筋コンクリート造外断熱工法を採用。開口部の高断熱サッシとともに断熱性能を大きく高めるとともに、高効率機器を導入し、BEMSによる連携制御で建物全体のエネルギーの最適化・見える化を図りました。空調は執務者の居住性を保ちつつ省エネ運転ができる設計としたほか、天井をスケルトンにして開放感を生み出すなど、社員の快適性と省エネを両立させています。

Nearly ZEB実現のためイニシャルコストは増加したものの、建物の性能が向上し、省エネ技術・設備によりランニングコストを大幅に削減。企業価値の向上や競争力の強化、将来的な法制度対応の先取りなど多様なメリットもあり、「長期的な視点で考えると十分に投資効果が見込まれる」と評価されています。

ZEB化を通じて持続可能な
建築の在り方の追求へ

ZEB化に取り組むにあたり、地域の特性に基づいたノウハウと実績が豊富なほくでんにZEBプランナーを依頼。

「新築計画の段階では建物の仕様および空調・給湯・照明などのシステム提案、加えて補助金申請に伴う支援、竣工後は運用面に関する一貫したサポート体制をとっていただき、きめ細やかな対応にはたいへん満足しています。現在運用の2年目を迎えましたが、プランナーからの支援を受けながらデマンド抑制のために行った1階フロア空調の連続運転の分析を行うとともに、今冬に向けてはさらなるエネルギーコストの削減を図るべく、早朝からの時間差による空調機の立ち上げ運転を計画しています。今後は断熱性能や静音性など外断熱工法のメリットを含め、自分たちの体感についても顧客に積極的にアピールしていこうと考えています」

新社屋に対する注目度は高く、これまでも多くの見学者を受け入れているほか、レジリエンスに対する取り組みを地域に発信するイベントも開催しています。ZEBの実現を通じて同社は、これからの社会と調和した持続可能な建築の在り方をさらに追求していきます。

協力

株式会社鈴木東建

〒063-0864

札幌市西区八軒4条東5丁目1番48号

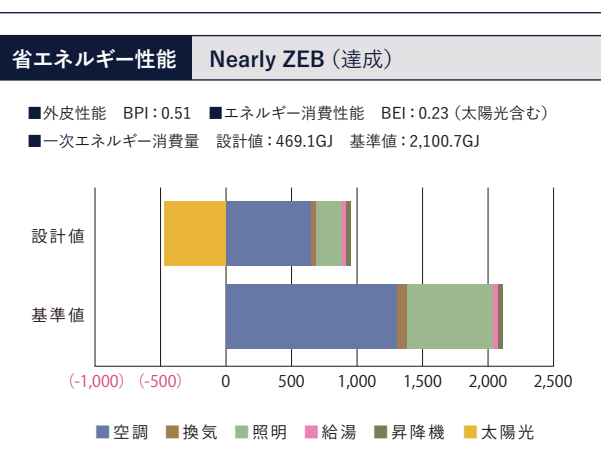
TEL.011-768-8785 (代表) FAX.011-792-9910

構造：RC造
規模：地上5階建
延床面積：1,789㎡

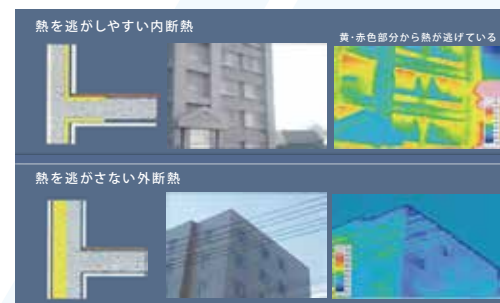
>> ZEBの検討から運用までお手伝いいたします。

お問い合わせ

北海道電力株式会社
バリューマーケティング部
エネルギーソリューション室 システム提案グループ
TEL.011-251-8072 E-mail:zeb-assist@hepco.co.jp



■内断熱と外断熱の比較



■鉄筋コンクリート外断熱工法のメリット

- ①100mm厚の断熱材で建物全体を包むことで優れた断熱性能を発揮
- ②ひび割れ・劣化を防ぎ、雨水や紫外線の影響を遮断するため耐久性が向上
- ③壁内結露のリスクを解消し、カビやダニの発生を抑制。室内温度も安定
- ④独自の仕上げ材は高い意匠性を持ち、建物の美観を長期間維持
- ⑤省エネ効果によりCO₂排出量を削減。断熱材はリサイクルが可能
- ⑥新築施工のほか既存建物の場合は居住しながらの外壁改修にも対応

■外断熱システム



株式会社鈴木東建
執行役員 総務部長
若松 直樹 氏



株式会社鈴木東建
建設事業本部 営業部 設計室長
森 康太郎 氏

「RVパーク」

安心・快適に過ごせる機能を完備した有料の車中泊施設。館内のコインシャワーやコインランドリーなども利用できます。

「海に見えるサウナ」

オートロウリュ式サウナを設置。海を眺めながらリラックスできると好評です。波の音が聞こえる外気浴もおおすすめです。

24時間トイレ

小さな子ども、体が不自由な方も、安心して利用できるよう工夫を凝らしています。海を望む開放的な空間も特徴です。

食べる「あずましリビング」

各テナントが地元食材を使った幅広いメニューを用意。「あずましリビング」で味わえるほかテイクアウトもOKです。

買う「恋問市場」

たこ、ししゃも、鮭など海産物をはじめチーズや鹿肉など白糠町の特産品が充実。道東エリアのお土産もそろっています。

遊ぶ「こっこパーク」

「子育て応援日本一」を掲げる白糠町。大型の滑り台やネット遊具など年齢に合わせて子どもたちが楽しめるコーナーも。



太陽熱集熱器：集熱面積 8.0㎡ (2.0㎡×4台)



直立式太陽光パネル：容量 16.56kW (460W×36枚)

ご協力

道の駅しらぬか 恋問館

〒088-0562 白糠郡白糠町恋問 3丁目2番地1
<https://michinoeki-shiranuka.jp/>

本館	9:00～19:00	構造：RC造
直売所	9:00～19:00	敷地面積：18,165㎡
テナント	10:00～19:00 (LO 18:30)	延床面積：1,919㎡
【休館日】 年末年始 (12月30日～1月3日)		



白糠町
経済部 経済課 商工係
係長
齊藤 淳 氏



【指定管理者】
株式会社オカモト
地域共創・文化事業本部
道の駅事業課長 兼道の駅しらぬか恋問館 館長
佐野 充勇 氏

>> 寒冷地のヒートポンプ導入をお手伝いいたします。

お問い合わせ

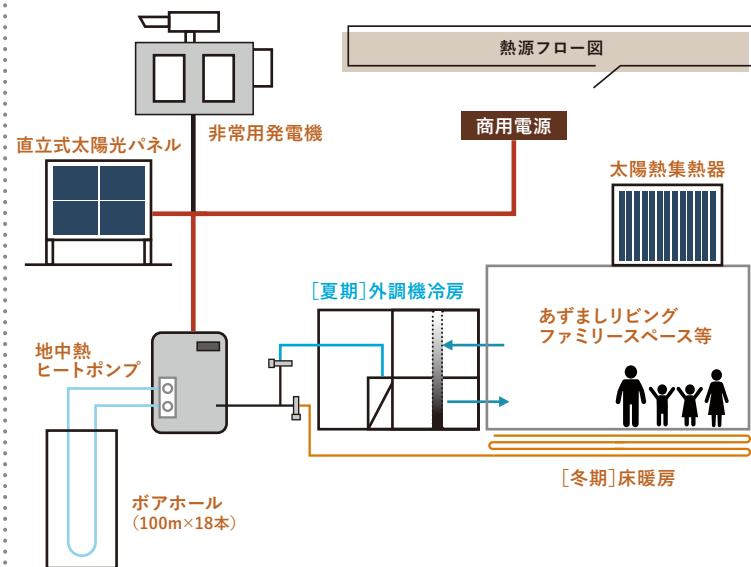
北海道電力株式会社
バリューマーケティング部
エネルギーソリューション室
システム提案グループ
TEL.011-251-8072
E-mail:zeb-assist@hepco.co.jp

採用ヒートポンプシステムの概要

ゼネラルヒートポンプ工業 社製
地中熱ヒートポンプチラー

24時間稼働する道の駅において、年間を通じて安定した温度である地中熱を利用した空調システムを導入することで、省エネかつ快適な空間を利用者に提供する。

機器に関するお問い合わせ
ゼネラルヒートポンプ工業(株)
TEL.011-837-5101



進化させ、来館者増へとつなげていく考えです。

海を望む景色や地元ならではの食材・お土産など、観光利用の来館者の満足度は高いようで、入り込みは好調に推移。大型遊具などを整備したことで特に週末には多くの家族連れが訪れ、狙い通り地元の利用が増えている実感があるといえます。「来館者の声にさらに耳を傾けながら、イベントなど新たな企画や情報発信にも力を入れ、町・指定管理者・テナントが連携してより良い施設にしていきたい」と話してくださいました。



白糠町



道の駅しらぬか
恋問館

電化最前線

白糠町の情報発信拠点として環境にも配慮

地中熱と太陽光を活用した「道の駅」がオープン

「道の駅しらぬか 恋問館」が2025年4月にリニューアルオープン。

地中熱や太陽光などの再生可能エネルギーを利用した施設づくりに取り組んでいます。

町の情報や魅力を発信し
さまざまな人が集う拠点に

恋問海岸が目の前に広がる「道の駅しらぬか恋問館」は、旧施設が建設から30年以上経過して建て替えが必要になったことから、移転改築工事を経てリニューアルオープン。白糠町の情報や魅力を発信する拠点としての機能を強化しました。特産品を食べる・買うコーナーをはじめ、情報発信コーナーには職員が常駐し、観光情報や人気の高いふるさと納税の問い合わせなどに対応。観光利用はもちろん、地元のファミリー層などと呼ばれる仕掛けを取り入れ、地域の交流の場としての役割も担う施設を目指しました。

また、海に面したロケーションの魅力を全面に打ち出し、施設の設計に反映。館内では太平洋の美しい景観を眺めながら、食事や休憩をすることができ、屋外テラスや屋内・屋外展望エリアを設けているほか、トイレやサウナからも海を見られる造りが好評を得ています。

再生可能エネルギー導入で
快適性と省エネを追求

リニューアルにあたっては、省エネや環境への配慮などの観点から、再生可能エネルギーを最大限に活用。年間を通して安定した採熱が可能な地中熱ヒートポンプシステムを採用し、館

内の空調や床暖房などに使用しています。

白糠町は日照時間が全国屈指の長さを誇り、その強みを有効に活用しようとして太陽熱集熱器や太陽光パネルも設置。太陽熱集熱器による温水は、24時間トイレの手洗いなどに活用しています。また、施設は交通障害など災害時の一時避難所としての対応も想定されており、太陽光発電には蓄電池を組み合わせて、補助電源として携帯電話の充電などに使うことができます。太陽光パネルは、年間を通して安定した発電が見込める垂直設置型が採用されました。

4～5月はエアコン暖房を使うことなく床暖房のみで運用し、十分な暖かさを確保できたそうです。今後も来館者に快適に過ごしてもらえ、環境の維持を第一に考えながら、気温や天候に合わせた設備の適切な運用を検討していくとともに、再生可能エネルギー導入による省エネ効果に期待を寄せています。

「何度も行きたくなる」
より良い施設を目指して

旧施設も人気のある道の駅でしたが、新施設はその約1.5倍となる年間来館者数75万人を目指しています。休憩などに立ち寄る通過点という従来のイメージから、「何度も行きたくなる道の駅」「目的地になる道の駅」へと

企業経営にメリットがあるCN化・省エネを支援



北海道 経済部 GX推進局
GX推進課

森田 裕規 氏

アピールしたいのは、CN化に向けた省エネの取り組みは企業経営にメリットがあるということです。省エネには義務的なイメージがどうしてもありますが、実際にはコスト削減や財務インパクトなど企業経営に寄与します。そうしたことを企業の経営者の方にもっと知っていただきたいです。

経営改善につながるという視点から、省エネ診断などを踏まえて、多くの企業に省エネに取り組んでいただくことを期待しています。そして、作成した脱炭素プランをもとに、設備投資を

行うという次のステップに進んでいただければと考えています。初期投資が厳しい場合には、道のほか国や各種団体などの脱炭素関連の補助金をぜひご活用ください。また、脱炭素プランを作ると金融機関の融資の事業計画書として活用することもできます。本事業に参画後、実際に設備導入を行った企業があるほか、ほぼすべての企業に運用改善方法が提案されているため、費用をかけずともできることは皆さんすぐに始めています。

2050年カーボンニュートラルに向けてまず取り組んでいただきたいのは、徹底した省エネです。法律も動いており、多くの企業が脱炭素にさらに取り組まなければならない環境に置かれると考えられますので、スムーズに取り組めるよう道としても情報発信や普及啓発をしていきます。

また、CN化の推進はCSRなど企業PRに役立てられるメリットもあります。そこでご紹介したいのが「ゼロカーボン・チャレンジャー」です。この制度に登録すると企業が自ら脱炭素に取り組むという宣言になり、企業PRはもちろん、入札などの加点評価にもなるため、登録企業が増えています。

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて
ゼロカーボン・チャレンジャーに登録しませんか

登録無料

ゼロカーボン・チャレンジャーとは、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす「ゼロカーボン北海道」(北海道知事が2020年に表明)の実現に資する取り組みを、「宣誓し、実践する事業所」のことです。



登録のメリット

日本政策金融公庫と道の連携による融資 ※令和5年11月22日、制度創設	NEW
道発注公共工事における審査で加点評価 ※令和7、8年度の競争入札参加資格審査で加点評価(道建設部、農政部、水産林務部)	
道の委託事業(総合評価・プロポーザル方式)の審査で加点評価 ※委託事業によっては、対象外の場合もありますので、別途ご確認ください	
道の中小企業総合振興資金による融資	
金融機関の貸付金利等や保証協会の保証料の優遇	
道のホームページで登録事業所の取り組みを広く紹介	

お問い合わせ | 北海道 経済部 GX推進局 GX推進課「ゼロカーボン・チャレンジャー」
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/zcc_gaiyou.html

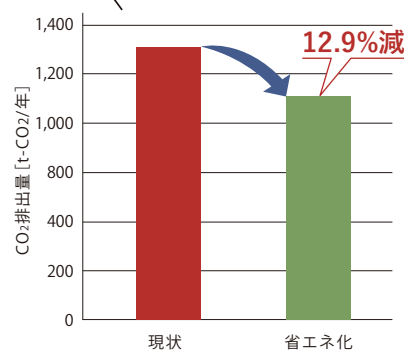


札幌・大通公園に面した「大通公園店」(2024年1月オープン)。豊富な品ぞろえで観光客にも人気。脱炭素を意識してCO₂冷媒採用ノンフロン冷凍機を導入



人気No.1の「鮭ルイベ漬」

省エネ診断による削減ポテンシャル



ご協力

佐藤水産株式会社

[本社]

札幌市中央区宮の森3条

1丁目5-46

TEL.011-621-6111

[診断施設]

サーモンファクトリー

第二工場・冷蔵庫

石狩市新港東2丁目15

佐藤水産株式会社
専務取締役

伊藤 寛祥 氏

脱炭素ソリューション

2050年「ゼロカーボン北海道」実現のために

脱炭素に向けて「カーボンニュートラルファーストステップ支援事業」に参画

佐藤水産株式会社は、カーボンニュートラル実現に向けた北海道の支援事業に参画。

環境保全の意識をさらに高め、脱炭素の取り組みを推進する契機になりました。

環境への高い意識を背景に企業としてカーボンニュートラルの取り組みを

北海道が実施する「カーボンニュートラルファーストステップ支援事業」は、道内企業のカーボンニュートラル(CN)化促進に向けて、取り組み可能で効果的なCN化プランの作成を支援する制度です。ほくでんは北海道庁より委託を受け、省エネ診断などを行って参画企業の具体的なCN化プランを作成、提案しています。

2024年度の同事業には15企業が選定され、取材にご協力いただいた佐藤水産はその中の1社として参画。同社は天然鮭にこだわった高品質海産物の専門店として、安全・安心でおいしい製品づくりに取り組んでいます。海産物を扱うだけに自然環境や脱炭素への関心は高く、これまでも個別の事案には取り組んできましたが、社としてさらに体系的にCNに臨む意欲を持つ事業に参画しました。

■省エネ対策と削減効果

項	項目	エネルギー削減量	CO ₂ 削減量
1	排水処理ブロワ1台の停止	21,900kWh	11.7 t-CO ₂ /年
2	機械室ルームエアコンの停止	6,325kWh	3.2 t-CO ₂ /年
3	保管庫冷凍機の更新	153,642kWh	81.9 t-CO ₂ /年
4	蒸気ボイラのエコキュート化	40,000L -106,900kWh	53.0 t-CO ₂ /年
5	エアコンプレッサの更新	17,540kWh	9.3 t-CO ₂ /年
6	デフロスト水槽熱源のHP化	15,085kWh	7.8 t-CO ₂ /年
7	電灯変圧器の統合	2,663kWh	1.4 t-CO ₂ /年
8	蒸気配管の断熱	782L	2.1 t-CO ₂ /年
合 計			170.4 t-CO ₂ /年

事業を活用した省エネ診断で具体的な対策や気づきに

今回の事業では、同社のサーモンファクトリー第二工場・冷蔵庫(石狩市)を対象に省エネ診断などを実施。設備計画や運用改善方法などを検討し、CN化プランをまとめました。同社の伊藤専務は、「省エネ・脱炭素のプロであるほくでんさんに一からアドバイスをいただき、進め方や考え方がわかったことが大きな収穫。道の事業のため費用面も含め取り組みやすく安心でした」と話してくださいました。現状把握や省エネ診断の過程で社員もヒアリングなどに参加し、これまで以上に具体的に脱炭素や環境保全に対する意識を持つようになったそうです。最終的なプランには8つの具体的対策があり、少しの手間ですぐに費用削減につながるものも。「指摘していただかなければ当たり前のこととして見過ごしていた点を発見でき、似たような改善点がほかにもあると気づけました。すぐにできること、中長期的に取り組むことを区別して考え、段階的に実行に移していきます」

北海道と足並みをそろえ

100年企業としてCN実現へ

同社は今後、CN化の取り組みをより積極的にアピールしていく考えです。「企業としては経営面でのメリットも両立させていかなければ長く続けられま

せん。さまざまな場面でCNに対する取り組みを発信することで企業価値の向上や人材の獲得、取引の拡大など、広い意味で会社の利益にできればと思っています」

さらに、今回の対象以外の工場や店舗にも取り組みを広げていくことを検討しています。1948年創業の同社の長期的な目標は「100年企業」。2050年「ゼロカーボン北海道」の実現より数年早いタイミングで迎えることとなります。「地元・北海道の目標と足並みをそろえて、私たちも脱炭素経営企業として100周年を迎えられればと考えています」

>> 省エネ、脱炭素計画策定をお手伝いいたします。

お問い合わせ

北海道電力株式会社
バリューマーケティング部
エネルギーソリューション室
省エネサポートグループ
TEL.011-251-8073
E-mail:shindan@hepco.co.jp

Panasonic

ダクトレスで簡単施工。
心地よい空気を、ご家庭に。



天井裏などのダクト施工が不要

壁にパイプ取り付けの簡単施工

より確実に換気ができる第1種換気



20m³/hタイプ
(約8畳用)
FY-20KW-W



30m³/hタイプ
(約12畳用)
FY-30KW-W



20m³/hタイプ
(約8畳用)
FY-20KW-H



30m³/hタイプ
(約12畳用)
FY-30KW-H

壁掛け熱交換気システム

アイエーキューブ

IAQ-V

詳細はこちら



除湿効果

結露対策

冷暖房可能

暑熱対策

20m
爽風

陽圧換気

夏の熱気を吹き飛ばす。 効果で選ぶ工場用空調。

エリアに合わせた暑熱対策
工場用ゾーン空調機

- ✓ 働くエリアまで届くパワフル気流
- ✓ 快適ゾーンを作り出す強力冷房
- ✓ レイアウトフリーの大空間ダクトレス空調
- ✓ 発売から40年、実績が証明する空調品質

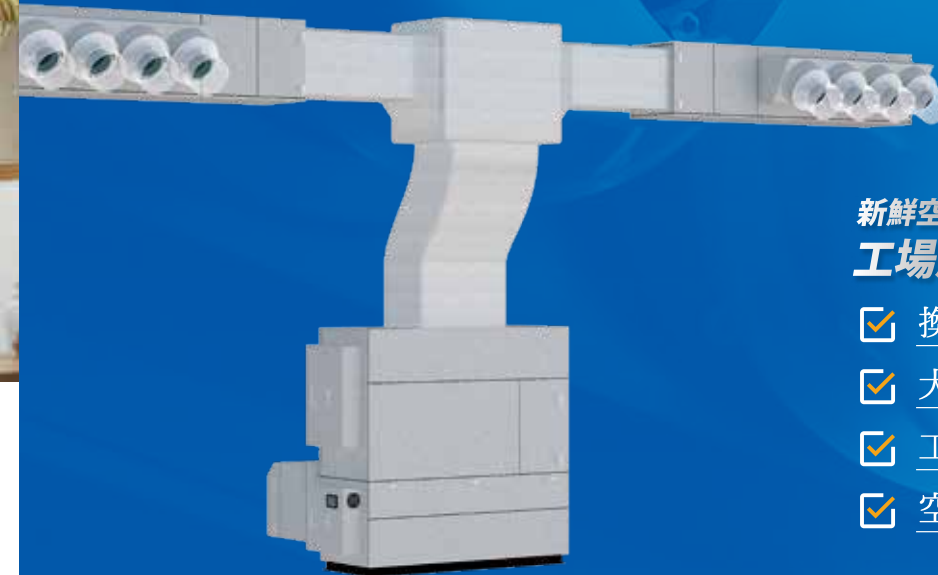
WEBでも
情報公開中 //



新鮮空気職場環境改善

工場用オールフレッシュ外調機

- ✓ 換気をしながら強力除湿
- ✓ 大風量の新鮮外気で押し出す換気
- ✓ 工場の隅々まで届くワイドな新鮮気流
- ✓ 空調効率と空気清浄度の向上に貢献



工場用ゾーン空調機

風の到達距離20m

工場用オールフレッシュ外調機



空気のちからで社会を豊かにする

木村工機株式会社

木村工機株式会社 札幌営業所

〒065-0024

札幌市東区北24条東16丁目1-6(正栄ビル5階)

北海道の工場空調なら

木村工機にお任せください

Tel. 050-3648-2291

工場空調のお問い合わせはこちら ▶

<https://www.kimukoh.co.jp/lp-contact>

